

第4回指導者交流会が7月22日(土)に障害者スポーツセンター体育室で行われました。今回は12名の参加で盛り上がりました。初めて皆さんで障害者スポーツの種目【実技】をやってみようということで、今回は「卓球」を行ないました。

卓球が得意な方やあまりやったことがない方などが皆さんでラケットを持って、ラリーしてみることから始めました。ボールに当てるだけで精一杯の方や昔の経験を思い出して技を繰り出そうとしている方などそれぞれが夢中でラケットを振っているのがとてもすがすがしく思えました。そのあと、卓球のボランティア活動で活躍しています(全国障害者スポーツ大会 名古屋市選手団 卓球コーチ)難波さんから簡単にラケットの握り方や振り方などを教えていただき、再びコートで打ち合いです。しっかり汗をかき、卓球のおもしろさを皆さんで感じる事ができました。今回の卓球を取り上げた目的は、皆さんで実際に行なうことにより、障害者卓球のルールを覚えたり、指導法をディスカッションしたりして理解を深めることです。打つのに慣れてきたから、今度は車椅子クラスのルールを確認してから実際に車椅子に乗って打つことにしました。サーブや体の真ん中でのレシーブの難しさを体験することで理解できたみたいでした。最後は3人1チームでダブルスと車椅子シングルでのトーナメントを行い、それぞれ優勝を目指しました。皆さんかなり白熱したゲームになり、大盛り上がりでした。第1回の交流会ゲームの優勝チームは、難波さん、森さん、宮部さんでした。おめでとうございます。また、今回のような実技を交流会で行ないたいと思っております。みなさんお楽しみに！ (交流会担当：荒賀博志)